

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「たちばな」独自の理念をかかげ、処遇モットーを基本に日々の支援を行っています	○ 一歩でも理念に近づける努力をしていきたいと考えています
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	忘れないように名前札の中に「理念」を書き込み 日々思い出せば「理念」を基本とし実践に向けて取り組んでいます	○ まだまだ実践不足な部分もあり 常に「理念」を目標に処遇にあたっていきたいと思っています
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営委員会・サービス検討会議・職員会議等を行い、「理念」の理解を深めていただけるよう取り組んでいます	○ 今後は地域住民・家族に対する「認知症」等への勉強会の実施に取り組みたいですと考えています
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	行事等への参加の呼びかけ、「地域たより」の発行の実施にて、より身近になり前年度より 当ホームに寄って行かれる近所の方々が増えました (野菜等に持参される方もいます)	○ 今後も地域行事等に積極的に参加し また 地域での「清掃活動」にも参加する予定です(職員)
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「納涼祭」「敬老会」への地域住民の参加があり交流の場が一点一点増えていきました	○ 今後も積極的に地域の方々との交流会を図りたいと思います

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域に貢献できないことがないかの話し合いは、行っていません	○	今後は、少しでも地域に貢献できるように検討していきたいと思っています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の外部評価表を掲示板に提示し 各職員で評価表に目を通し印を押し、改善点についても話し合いの場を設け改善に向けて取り組んでいます。改善点がなくても、更なる向上に向け検討を行い取り組んでいます	○	今後も職員全員で取り組んでいきたいと思います
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回開催 入居者の状況・行事予定・報告・ホーム内での出来事・防災・事故等についての話し合いをしています。区長・民生委員長・包括支援センター様の意見・提案等について話し合い、サービスの向上につながるよう努力しています	○	家族の参加されない日が多く「日時・曜日」の検討が必要である
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターとの情報交換を行い、運営委員会の中での議題に対し資料・情報の提供の協力をお願いしています	○	今後も継続的に情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいく
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、必要な入居者の方はいません	○	「成年後見」等についての研修があれば、積極的に参加し知識を高めたいと思います
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修への参加 利用者の全身の状態の確認をしている	○	今後も研修・勉強会等を積極的に行う

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に利用契約書・重要事項説明書・同意書により説明を行う。また 話し合いの場を作り理解・納得を得られるような対応をしている</p>	○	十分な説明の中で、ご理解、納得して頂いた上で契約・解除を行って行きたいと思っています
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族・入居者の方々には、面会・電話等にて尋ねることもありますが、直接 なかなか言ってもらえないこともあります。直接 ご家族の方と話し合いの場を設けていますが、そこでは「入居者の今後の意向」「現状報告」を行っています</p>	○	苦情申し立てがあれば、速やかな対応を行う入居者の方々との個別での話し合いの場を設けていければと思っています
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時・月初めの請求書にて個々の状況報告を行っています。また 緊急を要する時には、電話・メールのやり取りを行っている「たちばな」たより発行にて家族へ送付している</p>	○	個々に応じた状況報告はこれからも行っていきたくと思っています
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱設置・面会時等にて「意見・要望」がないか尋ね必ず家族の方々と会話をするように心がけています。苦情等については、早急に改善し対応できるように体制を整えています</p>	○	家族の方々からの意見・不満・苦情等については早急に対応していきたくと思います
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議の開催・状況に応じて、その都度検討会を行い意見等も反映できるように努力しています</p>	○	今後も必要があれば、その都度検討会を開催していく
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況の変化等については、その都度調整に努めています</p>	○	利用者の状況の変化や家族の要望には柔軟に対応できるように話し合いの場を作り調整に努めていきたくと思っています
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>最小限に留めるように配慮を行っています</p>	○	当ホームでは、移動はないが、退職にて離職され入居者の状況・状態については、十分な引継ぎを行っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望の研修等には積極的に参加したり、段階に応じた研修の参加を促し知識・技術の向上に努めています	○ 研修後の他の職員へ知識・技術を確実に伝えより良いサービス提供が行えるように努めていきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム関係の同業者(地域外)との交流はあるものの地域内の同業者との交流・研修は現在のところ行っていない。大きく分け「老健・特養・病院」(地域内)との交流＝情報交換・見学等にて情報収集しサービスの向上に努めています	○ 地域内のグループホーム関係者との交流を深め研修等を行っていきけるように努力していきたいと思っています
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	意見・要望の相談話し合いの場を作っている	○ 要望や相談を気軽に言えるように、職員間の交流の機会を作っていく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	評価はおこなっていない	○ 各自が知識・技術の向上ができるように評価検討していきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者・ケアマネより相談から利用に至るまで配慮され他の職員への申し送りを行っている	○ 今後も他の職員にもきちんと申し送りをを行い連絡事項もれがないように、努めていきたいと思っています
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者・ケアマネより相談から利用に至るまで配慮され他の職員への申し送りを行っている	○ 今後も他の職員にもきちんと申し送りをを行い連絡事項もれがないように、努めていきたいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集を行いケアマネにて対応に努めている	○	今後も十分な対応に努めていきたいと思っています
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族の方からの情報(昔の生活状況・趣味・興味)を頂きホーム内の見学 本人使用の品物の持参 ホーム内での生活・暮らしぶりを感じ取って頂く	○	本人や家族の意向に沿えるよう努力していきたいと思っています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個々に応じた能力・機能を見つけだし、食事の準備・後片付け・洗濯物干し・たたみ・掃除・畑仕事等と一緒にいたり昔ながらの習慣を引き出す努力をしています	○	今後も入居者の方々と一緒に過ごし喜怒哀楽を共に築けるような関係作りに努めていきたいと思っています
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員・家族の方々と共に入居者の方を支えていく関係を築いていけるように努力しています(見極め・状況・状態の変化等家族に状況報告を行い対応の検討をしている)	○	今後もより良い関係が築けるように努力したいと思っています
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会・外出・外泊の機会を多く取り入れて頂けるように声かけをおこない、より良い関係が保たれるように支援している(家族に協力をお願いをしています)	○	今後もより良い関係が保たれるように努めていきたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個別での席を設け、ゆっくりと時間を過ごして頂く。食事時間に差し掛かれば食事と一緒に取ってもらい、なごやかなひと時を過ごされるように配慮している	○	今後も継続していきたいと思っています
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を職員が把握し、個々の個性を大切にしながら関わりがもてるように支援している	○	今後も入居者の方々と大切にしながら支援していきたいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要があれば相談等行えるような関係作りを行っています(近況報告等兼ねて)	○	今後も継続的な関わりが続いていければと思っています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望・意向を取り入れ本人主体での取り組みを行っている	○	入居者(個々)に関心を持ち希望・意向の把握に努めていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供・アセスメント・面会時を通して生活歴・これまでの経過等の把握に努めている	○	十分な把握に努めていきたいと思っています
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者(個々)の現状・状態を把握できるように、申し送り・連絡事項を密に行っている。毎月1回の職員会議実施にて話し合っている	○	今後も状況・状態把握に努めていきたいと思っています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス担当者会議の中で、ご家族様も参加され意見・要望等を反映した計画書を作成している 入居者の意見・意向を話されるのが、少ない	○	今後も継続していきたいと思っています 入居者の意見・意向を十分に聞きだせるような体制に努めていきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間と共に見直しを行っている 状況・状態に応じ随時話し合いをおこない、状況・状態に必要な計画を作成している	○	今後も継続したいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況・状態は個別にて経過記録に記載 計画見直しは経過記録参考 または その都度あれば、話し合いを行っています	○	経過記録参考・検討会・職員会議等 その都度話し合いの場を設け継続していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族からの要望は、なるべく要望に応じた対応ができるように取り組んでいる	○	柔軟に対応していきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域住民の訪問(特定に限り)はありますが、地域資源との協力支援はしていない	○	今後の課題にて区長・民生員にはお願いはしている
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の施設との情報交換は行っています	○	特定の施設だけではなく、地域の幅広い施設とのかかわりがもてるように努力していきたいと思っています
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に一回運営推進会議に参加して頂き、意見等いただいておりますが、必要に応じてのみであり、協働でのマネジメントは行っていない	○	地域のケアマネジャーと協力し、他のサービスの利用がスムーズに行えるようにと思っています
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医院(2週間に1回の受診・一週間に1回の往診分けて実施しています)当ホームでは入居者すべての方々は協力医院です(入居時にきちんと説明了解のもと変更されています)協力医院・家族・職員との情報交換に勤めています	○	今後も医療機関・家族・職員との連携を図りながらの対応していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医院(主治医)に相談必要に応じて受診できるようにしている紹介書の作成依頼のお願い等	○	医療機関との連携を図っていきたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師の配置なし、日常の健康チェック、異常があった時には、すぐに協力医院受診の支援を行っている(同時に家族にも状況・状態報告をしている)	○	今後も健康管理に努めていきたい
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院のドクター・看護師との状態・状況報告等を行い情報交換に努めています	○	今後も継続していきたいと思っています
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	きちんと家族の意向を聞き主治医・家族・職員との話し合いの場を設けている(状況・状態を見ながら、早い段階から方針を決め対応している)	○	医療機関・家族と話し合いを行い今後の方針を共有できるように努めたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホーム内で「できること・できないこと」は、きちんと検討会を行い、また、主治医に相談し家族に報告	○	ターミナル等についての勉強会・研修会への参加 入居者の方が安心して生活できるように支援。提供していきたい
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設の関係者・家族・本人の意向を踏まえ十分な話し合いを行い環境にたいする配慮を整えたり また お願いをしています	○	今後も十分な話し合いを重ね対応していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員による「個人情報保護」の誓約書あり＝サイン・印をおす入居者に関することは家族に「同意書」を頂いています 個々の尊厳を重視した対応に心がけている	○ プライバシーに対しての配慮・尊厳を重視していきたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意向を尊重し 自己決定ができるような支援を行っている	○ 継続したいと思っています
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者主体の立場に立った支援ができるように また 状況に応じた対応ができるようにしている	○ 入居者主体の立場を、常に考え柔軟な対応を心がけていきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	一日の始まりとして、見出しなみ(髪・衣類)を整え、衣類等の選択・好みがあれば、本人が決め着装衣されています。選択不可者には、職員の方で、対応。理・美容院は、福祉車両にて対応。しかし希望店があれば、家族対応にて行っています	○ 本人の意向・家族の意向を尊重したい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・配膳・下膳・後片付け等は本人の能力の応じ行っています。給食委員会開催時(好きなもの・嫌いなもの・好み)等聞き、それに添えるように努力しています。買い物への参加あり	○ 昔の家事を思いだしながら、できる部分を見出しながら支援していきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	「タバコ」希望1名＝職員の付きっりにて吸われています 体重制限等Drからの指示あり(数名)おやつ・飲み物等は状況に応じて職員側からの提供 水分補給はその都度行う(希望者は自らついで飲まれています)	○ Drと相談しながら、本人の希望に添えたいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し時間を見て誘導・案内の声かけを行っている。紙パンツ・パット使用者でも基本的には、日中はトイレにて排泄を促しています 排便に対しては、便秘薬使用者あり	○	汚染の軽減に努めていきたい
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1度入浴実施(入居者を半々に分けて対応) 時間帯は、なるべく希望の添えるよう努力したいです。朝風呂の希望者あり	○	今後も希望に添えるように努力したいと思っています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	状況・希望に応じて[コタツ・居室・ソファ)等思い思い休息されています	○	状況に応じて対応していきたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味・生活歴・興味等を本人・家族からの情報をもとに、個々にあった役割の支援を行っている	○	個々の役割を、最大に発揮できるように支援していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理可能者は、少量のお金を持たれ必要時職員と共に買出しを行っている。預かり金としてホーム管理あり お金の所持判断は家族の方が主に判断されています	○	状況判断にて家族・入居者と話をして支援していく
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間行事[花見]等は全員参加 随時天候・気候を見てドライブ実施[参加者のみ]＝声かけ行が、無理強いない。定期的な外出あり ドライブでは参加される方・参加されない方が決まっている数名でのホーム内散歩あり、家族への外泊・外出のお願いをしている	○	閉じこもりにならないように家族の方の協力をお願いし、ホームでも地域へ出かけたり、戸外へ出る機会を多く取り入れていきたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	職員がドライブ・見学場所等を決め提供していることが多い 入居者の希望に添った[自宅周辺・知人宅]場所へもリサーチのもと出かけることもある。家族と出かけられることもありますが、特定した家族と入居者のみ(まったく家族が面会等来られない家族もあり)	○	入居者の意向を主として職員・家族の協力のもと幅広く出かけられる機会を取り入れたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば職員が代弁にて家族に伝えることが、多い「電話をかけて伝えて」と言われる まだ 自分から電話をかけようとされることはないが、いつでも電話をかけられるようには配慮している	○	今後も配慮しながら支援していきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人の訪問の際、過ごされる場所の提供(こたつ・居室)等 食事時間と重なる時には食事の提供あり、希望すれば宿泊あり	○	今後もゆっくりとした時間を過ごして頂けるように提供していきたい
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在「身体拘束」者はいない。身体拘束マニュアル作成にて実践している	○	マニュアル表の再確認・研修会・勉強会への参加を積極的に行っていきたいと思っています
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・ホール等については、日中でも施錠あり(少しの空間はある) =家族には了解を得ている(入居時に説明)夜間のみすべて施錠しています	○	「身体拘束0をめざしていきたい」
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、ほとんどの方がホールにて過ごされ、必ず職員がそばに着き見守りを行っている(居室で過ごされている方でも巡回見守り実施) 夜間は定時巡回(1時間置き・状況巡回にて対応)	○	安全に気を配り対応していきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目の届く範囲内に常時必要な物を置き危険がないか気を配っている	○	保管等については、十分に注意を払いながら、危険防止に努める
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修への参加・マニュアル表の作成にて知識向上に努めている事故(転倒・離脱)等においては、報告書作成にて、検討会を開き再発防止に努めています	○	研修・勉強会への積極的な参加にて知識・技術向上に努めたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急法の講習会参加、緊急マニュアル作成周知徹底を行っていますがホーム内での勉強会・訓練不足あり	○	講習会への参加・応急手当・初期対応の訓練の徹底に努めていきたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回消防訓練実施(そのうち1回は武雄消防署よりの訓練実施) 避難・誘導・消火・通報訓練 地区の区長・民生員・消防団の協力要請 訓練報告書作成	○	定期的な訓練実施を行っていく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には入居時・面会等にて説明をしている 起こり得るリスクについては、話し合いの場を設け検討しています	○	十分な話し合いを行っていきたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康チェックを行い異常時には主治医に連絡と共に家族にも連絡し、すみやかな対応を行っています(少しの異変でも受診を行っています)	○	健康状態の把握・早期発見に努めていきたいと思っています
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノートにて薬・概要説明を把握し家族にも「何の薬を服用されているか」説明しています。薬・点眼はホームにて保管きちんと内服されたか確認している。薬の変更等は、口頭・申し送り帳記載	○	徹底した管理を行っていきたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事・水分補給等にて対応し自然排便を促しています。が便秘薬の処方されて定期的に内服されている方もいる(お腹の「のの字」体操実施)	○	排便のコントロール管理に努めていきたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアの実施 入れ歯の洗浄を行っています	○	このまま継続し清潔保持に努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表記載にて摂取量の確認・水分の訴え不可の方には、定期的に水分補給を行っています。1名にて「ミキサー・あらきざみでの対応」状況を見て普通食に戻す検討あり 体重管理者(数名=ドクターの指示あり)	○	今後もバランスの取れた食事の提供に心がけていきたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアル作成・Drの指示にて対応はしているが、研修への参加はない	○	積極的に研修・勉強会への参加を呼びかけ知識・技術の向上へとつなげ感染予防に努めていきたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は定期的こまめに買出しを行い、必ず残さず使い切る。 冷蔵庫に溜め込まない。ハイター消毒。汚れは、その都度清掃しています	○	新鮮で安全な食材の提供・衛生管理の徹底に努めていきたい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、近隣からの手作り作品・季節にあった作品が展示してあります(野菜作り・花植えあり)	○	季節にあった工夫をこらしていきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民謡・童謡等好まれる音楽が流れています。季節感を味わって頂けるように、その都度季節に応じた壁画作りに取り組んでいます	○	居心地のいい場所の提供に努めていきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳敷きのコタツ・ホールのソファ等でおもいおもいに過ごされています	○	ゆっくりと過ごして頂けるよう工夫していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される時に本人・家族が相談され好みの品物・身の回りの物を持参されています(持ち込みについては、きちんと説明を行っています)	○	工夫をこらし本人が居心地のいい場所の提供を行ってきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに換気・温度調整を行っています 入居者の方々には意見を聞きながら対応している	○	入居者の意見・体調・状況を見ながら対応していききたい
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置	○	必要に応じて工夫していききたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ・お風呂場等には、わかりやすく名称の表示をしている	○	今後も工夫をこらしていききたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには椅子を並べ日光浴を行い、外を眺めては、野菜・花の成長の観察を行っています・庭の草むしり・野菜の収穫・みずやりにはげまれています	○	外に出ると季節感を味わい また 五感の刺激にもなり継続していく

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームでは「理念」をもとに 入居者の方々の健康管理を行い・楽しく過ごされ・あらゆる能力を引き出し支援していくかに取り組んでいます。プランをもとに、下肢・歩行訓練実施（日課の朝の体操）畑仕事・草むしり・花壇作りに励んでいます